

水稻の生育状況（7月4日現在）と栽培上の留意点について

発信日：2025年7月8日

1 生育状況

7月4日現在の水稻の生育状況は、平年値(2015～2024年までの過去10年平均)と比べて、表1のとおりです。

表1 水稻の生育状況(7月4日現在)

品種	移植時期	草丈	茎数	葉色
はるみ	6月上旬	長い	やや多い	同等
	6月中旬	やや長い	多い	同等
キヌヒカリ	6月上旬	長い	多い	同等
	6月中旬	長い	多い	同等
てんこもり*	6月上旬	長い	多い	同等
	6月中旬	同等	多い	同等

*2018～2024年までの過去7年平均との対比

2 栽培上の留意点

気象庁が7月3日に発表した1か月予報(7/5～8/4)は、気温は「高い」、降水量は「平年並か少ない」、日照時間は「多い」見込みとなっています。今後の栽培管理については、次の点に留意してください。

(1) 出穂期

出穂期は、現時点の生育と今後の気象予報からやや早い～早いと予想されます。

(2) 中干し

中干しは、過剰分げつの発生抑制、水稻の倒伏、根への酸素供給、収穫期の作業性向上を目的に実施します。最高分けつ期頃から5～7日程度水を切り、田面に軽いひび割れができる程度に干しましょう。

(3) イネツトムシ(イチモンジセセリ)の防除(写真1)

イネツトムシの防除適期は、粒剤で孵化最盛日の5日前、その他の薬剤で孵化最盛日から5日後程度です。

今年の県内各地の孵化最盛日の予測は、病虫害防除部の「令和7年度防除情報(病虫害情報号外第7号)」を参照してください。



イネツトムシ(写真1)

左 ; 成虫 中;幼虫

右 ;被害状況(複数の葉が綴り合っている)

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/119680/20250707_inetsuto.pdf



(4) 水田周辺の雑草管理

「斑点米カメムシ類」（写真2）は水田周辺の雑草に生息し、出穂期になると水田内に侵入し、籾を吸汁して斑点米を発生させ、落等の要因となります（写真3）。日頃から畦畔や水田周辺の除草管理を徹底しましょう。ただし、出穂期頃の除草は、水田に斑点米カメムシ類を追い込むため、畦畔雑草の除草は出穂 10 日前までに終わらせましょう。



ホソハリカメムシ

クモヘリカメムシ

アカスジ
カスミカメ

アカヒゲホソ
ミドリカスミカメ

斑点米（写真3）

斑点米カメムシ類（写真2）

(5) 「イネカメムシ」の発生に注意

県内各地で「イネカメムシ」（写真4）の発生が確認されています。本虫は籾の基部を加害して不稔籾を発生させるため、他の斑点米カメムシ類と異なり、発生量が多いと大幅な減収となる可能性があります。また、畦畔雑草に飛来せず、直接水田内へ飛来する特徴があり、特に高温時は出穂期前に飛来し早期から繁殖する可能性があります。



イネカメムシ
（写真4）

そのため、「イネカメムシ」による不稔籾の発生を防止ぐために、出穂期に防除を行ってください。また、発生地域が拡大傾向にあるので、昨年発生が見られなかった水田でも注意してください。

(6) 「ナガエツルノゲイトウ」の発生に注意（写真5）

「ナガエツルノゲイトウ」の発生地域が拡大しています。水田に疑わしい雑草が見られた時は、最寄りの JA または農業技術センターに連絡してください。

なお、「ナガエツルノゲイトウ」の防除は農業技術センターホームページ掲載されている世界最悪の侵略的植物「ナガエツルノゲイトウ」に警戒を！を参照してください。



ナガエツルノゲイトウ（写真5）

<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/88221/r6nagaeboujyo.pdf>



※ この他の病虫害防除対策は、病虫害防除部の「令和7年度病虫害発生予察情報」を参照してください。

https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002/2025_4_01.html



※ また、薬剤防除を行うときは、病虫害防除部の「令和7年度防除情報（病虫害情報号外第4号）」を参考に、適切な農薬使用をお願いします。

https://www.pref.kanagawa.jp/documents/119680/20250630_gogai.pdf



(7) 農作業安全

農作業中の熱中症に注意してください。熱中症の予防には日中の気温が高い時間帯を避けて作業を行うとともに、休憩をこまめにとり、作業時間を短くする等の工夫を行いましょう。のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を行い、帽子の着用や通気性が良く速乾性のある服装を心がけましょう。

台風などの大雨時の水田等の見回りは大変危険です。気象情報及び周囲の状況を十分に確認し、安全な状況になるまでは行わないでください。

なお、農作業を行う際はなるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。単独で作業を行う場合には、何かあった際でもすぐに連絡ができる状態を維持しておきましょう。

【参考】

表2 神奈川県農業技術センター（平塚市）における過去10年（2015～2024年）平均

作期	品種名	中干し時期	穂ばらみ期	出穂期
6月上旬植	はるみ	7月11日～16日頃	7月26日～8月10日頃	8月10日
	キヌヒカリ	7月9日～14日頃	7月24日～8月8日頃	8月8日
	てんこもり*	7月15日～20日頃	7月30日～8月14日頃	8月14日
6月中旬植	はるみ	7月16日～21日頃	7月31日～8月15日頃	8月15日
	キヌヒカリ	7月15日～20日頃	7月30日～8月14日頃	8月14日
	てんこもり*	7月20日～25日頃	8月4日～8月19日頃	8月19日

*2018～2024年までの過去7年平均

問合せ先

神奈川県農業技術センター

普及指導部 作物加工課

T E L : 0463-58-0333 内線381～384